

【親族内承継を行う法人】の場合における記載例を作成しています。
親族外承継（従業員等）、第三者承継（M&A）を行う場合や、
個人事業者の場合、それぞれに応じて作成してください。

【第1号様式（別紙2）】（第4条関係）

事業承継の概要書

1 現経営者について

現経営者の氏名	大和 善継
---------	-------

2 後継者（候補者含む）等について

※第三者承継（M&A）を行う場合は、記載不要です。

後継者の氏名（1）	大和 秀継
後継者の氏名（2）	

3 事業を承継する時期までの経営の計画等について

具体的に記載してください。

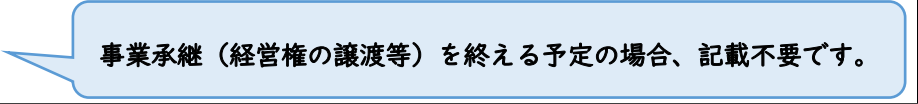
事業を承継する時期（予定）	令和9年1月 ~ 令和9年12月
当該時期までの経営上の課題	県内店舗内の製造設備は、昭和50年に完成以来、必要により設備の修理・更新を行っているものの、全体的に老朽化が否めない。また、既存顧客だけでなく、県外の新規顧客の獲得を目標に始めたECでの売上が伸び悩んでいる。
当該課題への対応	近い将来において店舗の新設備の導入を検討し、メンテナンスのマニュアルの確立等を通じて設備の長寿命化を図る整備作業の体制構築を目指す。また、ECサイト運営のコンサルティング会社の支援を受けながら、ECサイトのリニューアルや新商品の開発、SNS活用により売上改善を図る。

4 今後5年間の事業の承継に向けた実施内容について

※第三者承継（M&A）を行う場合は、記載不要です。

具体的に記載してください。

年度	実施内容
令和6年	初期診断、事業用資産や企業価値の算出・分析 専門家を活用することで、経営状況や経営課題、経営資源等を見える化し、現状を正確に把握する。把握した自社の経営状況・経営課題等をもとに、現在の事業の成長性、商品力・開発力の有無、利益を確保する仕組みなどを再度見直して自社の強みと弱みを把握し、強みをいかに伸ばすか、弱みをいかに改善するかの方 向性を見出す。また、株価等の評価を行い、活用する事業承継関連施策の検討を行う。
令和7年	事業承継計画の策定 上記の現状を詳細に分析した上で、中長期的な方向性（経営ビジョン）の決定、売上高、利益等の数値目標を設定し、これらの達成に向けた具体的な行動予定や作業項目を明確にする。
令和8年	事業価値の向上 上記の事業承継計画を基に、現代表者、後継者、従業員等の関係者において事業用資産、経営理念、ノウハウ、顧客とのネットワークなどの経営資源を共有し、事業価値の向上や会社の魅力の磨き上げに向けた取り組みを行う。

令和9年	経営権の譲渡 登記や許認可等の必要な手続きを行う。
令和10年	(省略)  事業承継（経営権の譲渡等）を終える予定の場合、記載不要です。